

《北海道建築指導センターからのお知らせ》

☆『技術セミナーのご案内』

2025 年に構造耐力関係規定の審査省略(4 号特例)の対象が縮小され、**木造2階建て**についても**確申請時の構造審査が必要**になります。基準法の壁量計算を1日で学ぶセミナーです。

■日 時：令和5年10月11日(水) 9:30~16:30

■定 員：50名

■受講料：一般(税込18,000円 テキスト代 税込3,667円)

BCJ 正会員/KSC 情報会員(税込15,000円 テキスト代 税込3,300円)

■会 場：札幌市北区北6条西6丁目2番地 設計会館8階

北海道建築士事務所協会 会議室

■テ マ：「構造設計シリーズ/木造編」(基礎Iコース)

【基準法】<木造軸組構法住宅の壁量、N値の計算演習>

■主催/お問合せ：(一財)日本建築センター(BCJ) 情報事業部 TEL 03-5283-0477

■共 催：一般財団法人 北海道建築指導センター(KSC)

■申 込：右記QRコードかBCJ講習会ページからお申し込みください。

<https://www.bcj.or.jp/seminar/>



テキスト販売中



《本部からのお知らせ》

☆『「修繕の心得 講習会」DVD セミナーのご案内』(CPD 認定)

■日 程：令和5年10月18日(水)(受付13:00~) 13:30~16:30

■定 員：28名 申込受付順、定員に達し次第締切。

■受講料：テキスト代込・税込 建築士会会員/5,500円 一般/7,700円 当日受付にてお支払い。

■会 場：大五ビル2階会議室(札幌市中央区北1条西5丁目)

■申 込：下記アドレスより参照、ご確認ください。

https://h-ab.com/download/event/other/app_syuuzen-no-kokoroe_2023.pdf

☆『「施工の心得」DVD 動画講習会のご案内』(CPD 認定)

■日 程：令和5年10月25日(水)(受付13:30~) 14:00~16:35

■定 員：28名

■受講料：テキスト代込・税込 建築士会会員/5,500円 一般/7,700円 当日受付にてお支払い。

■会 場：大五ビル2階会議室(札幌市中央区北1条西5丁目)

■申 込：下記アドレスより参照、ご確認ください。

https://h-ab.com/download/event/other/app_sekou-no-kokoroe_2023.pdf

《北海道からのお知らせ》

☆『令和5年度 応急危険度判定士 講習会(札幌開催)のご案内』

応急危険度判定士認定証の有効期限は**5年**。更新は認定証 期間満了までに受講必要になります。

■日 時：①令和5年10月24日(火) ②令和6年2月2日(金)

両日共に 13:30~15:30

■定 員：180名 定員に達し次第締切

■会 場：自治労会館 大ホール

■受講料：無 料

■申 込：下記アドレスより参照、ご確認ください。①②の開催日14日前迄の必着。

<https://h-ab.com/session/oukyu.html>

《情報委員会からのお知らせ》

☆STREET の紙配布の取りやめについて

■現在、連合会誌と同梱して送付している札幌支部ニュース STREET のペーパーレス化を進めます。
(現在、最新版はHPに掲載中です) さらに、より早い情報提供をするためにメールアドレスを登録された支部会員の皆様へ、メーリングリストを利用した情報発信を行います。

■メール配信ご希望の方は、下記アドレスよりメールアドレスの登録をお願いいたします。

<https://forms.gle/YndTjsJ2fDLCCc3pC7>

■グーグルフォームに接続できない方はE-mail: hksj@h-ab.com まで、お名前とメールアドレスを送ってください。

●北海道建築士会ホームページ“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！

■視聴方法：北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■10月パスワード：Sou036

『失敗から学ぶ』 VOL. 20

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう

※今月のテーマ；【部門間の食い違い】

■部門間の食い違い1

設備設計図に建築工事と記載された設備架台が建築図（意匠図）に記載されていなかった。

※部門間の食い違いで多くある事例。

- ・調整不足や申し送り事項が曖昧の場合に発生するので留意が必要。
- ・部門以外の工事と記載した場合は該当する部門に申し送る、部門間共通の工事区分表に明記する。
- ・最終設計図に依頼事項が反映されていることを確認する。

■部門間の食い違い2

温水式ロードヒーティングが設置されるコンクリート舗装のひび割れ防止用のメッシュが設計図に記載されていなかった。

※温水式のロードヒーティングはメッシュを敷きこんでヒーティング用パイプを固定します。

- ・ひび割れ防止用メッシュはヒーティングパイプより上部となるのでパイプ固定用メッシュとは別に必要になる。
- ・一般的にパイプ敷き込み用のメッシュは設備工事、ひび割れ防止用のメッシュは建築工事が多い。
- ・部門間共通の工事区分表に明記して食い違いが生じないようにする。

■部門間の食い違い3

杭基礎が必要な浄化槽の基礎仕様が設備図のみに記載されていたので建築工事の積算漏れになった。

※着工時は建築の躯体工事が先行し主に構造図で工事を進めるのが一般的です。

- ・杭工事など構造図に記載すべき情報が設備設計図のみに記載すると積算漏れになる恐れがあります。
- ・地中埋設油タンクの基礎も同様、建築・設備部門間共通の工事区分表に明記することを推奨します。
- ・設備機器基礎杭でも建築工事で施工するのが一般的なので構造図に記載を推奨します。

自習型認定研修の設問

設問1

部門間の依頼工事で正しいのはどれか？

- 設備設計図は別途建築工事によると記載すればよい。
- 設備に必要な架台等は全て設備設計図に記載し依頼工事は避ける。
- 依頼する部門に明確に情報を伝え設計図の記載された結果を確認する。

設問2

杭基礎の浄化槽設計図で正しいのはどれか

- 設備工事なので全て設備設計図に記載しなければならない。
- 浄化槽基礎の杭は建築構造図の杭伏図に必ず記載しなければならない。
- 部門間共通の工事区分表に記載し部門間で情報共有可能な設計図とする。



認定教材の設問への回答は、
CPD 情報システムのページ
<https://jaeic-cpd.jp/>
にアクセスのうえ、お願いします。
※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。